

時間生物学・睡眠学の学際的研究をめざして

駒田 陽子[✉]

東京工業大学大学 リベラルアーツ研究教育院

私どもの研究室は、2022 年 4 月にスタートしました。時間生物学と睡眠学の研究を社会的・文化的な視点を入れながら進めていくことを目標としています。

東京工業大学では、学士課程から博士後期課程まで、継続的にリベラルアーツ教育と専門教育の両方を連動させ、それらを織り交ぜて学び続ける独自の教育課程を編成しています。学部生の 9 割が大学院に進学するため、学部と大学院を統一して「学院」という呼び名となっています。学院は、理学院、工学院、物質理工学院、情報理工学院、生命理工学院、環境・社会理工学院の 6 つで構成されています。

私の所属するリベラルアーツ研究教育院は 6 学院とは別の組織で、教養教育と専門教育を有機的に関連させ、知識や能力をスパイラルアップさせる「くさび型教育」を担っています。古くから著名な研究者・文化人が教鞭をとっていることで知られ、宮城音弥（心理学）、伊藤整（文学）、永井道雄（社会学）、鶴見俊輔（哲学）、永井陽之助（政治学）、川喜田二郎（文化人類学）、江藤淳（文学）などが所属していました¹⁾。現在も、個性豊かな教員が多いです。

組織がわかりづらくて恐縮ですが、大学院としての所属は環境・社会理工学院となります。学外から研究室を志望して下さる方には、リベラルアーツ研究教育院ではなく、環境・社会理工学院 修士課程、博士後

期課程を受験して頂く形になります。他の大学と同様、3 月から 5 月にかけて大学院進学説明会を行っており、試験は修士課程が 8 月、博士後期課程は 8 月と 2 月に行っています。

研究内容のキーワードとしては、睡眠負債と社会的ジェットラグ、睡眠・生体リズムとリプロダクティブヘルス、社会・環境と睡眠、子どもの眠りなどです。ホームページ (<https://www.yk.ila.titech.ac.jp/wp/>) をご覧頂けますと幸いです。一緒に研究を進める大学院生、ポスドクを募集していますので、ぜひご連絡ください。

ニュースでも報じられているとおり、東京工業大学は 2024 年 10 月に東京医科歯科大学と統合し、「国立大学法人東京科学大学」という新しい大学になることが決まっています。今後、大学院の名称や組織も改編される可能性が高いですが、多様性と共鳴をモットーとして、学際的な時間生物学・睡眠学の研究²⁾を進めていきたいと考えています。

参考文献

1) 池上彰, 上田紀行, 伊藤亜紗 「とがったリーダーを育てる 東工大リベラルアーツ教育 10 年の軌跡」 中公新書. 2021

2) 駒田陽子 「インボスター症候群が考える時間生物学の多様性と共鳴」 時間生物学. 2021 27: 1



写真 1 大学の本館・時計台



写真 2 研究室のメンバー（左から 2 人目が筆者）

✉ komada.yoko@ila.titech.ac.jp
<https://www.yk.ila.titech.ac.jp/wp/>